

第 7 次国有林野施業実施計画書(案)

(利根上流森林計画区)

計画期間 自 令和8年4月1日
至 令和13年3月31日

関 東 森 林 管 理 局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4)	伐採総量	3
(5)	更新総量	5
(6)	保育総量	5
3	特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積	6
4	林道等の整備に関する事項	9
5	治山に関する事項	11
6	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	12
(1)	保護林の名称及び区域	12
(2)	緑の回廊の名称及び区域	14
7	樹木採取区の名称、所在地及び面積	14
8	レクリエーションの森の名称及び区域	15
9	国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全等に関する事項	33
(1)	森林共同施業団地の名称及び区域	33
(2)	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	33
10	その他必要な事項	33
(1)	施業指標林、試験地等	33
(2)	フィールドの提供	35
(3)	その他	36

附属参考資料

(1)	国有林野の現況	38
(2)	機能類型別の国有林野の現況	40
(3)	林道等の現況	41
(4)	収穫予想表	41
(5)	地元施設等の現況	41

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域については、別添国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別冊「伐採造林計画簿」に示すとおりである。

(2) 水源涵養^{かん}タイプにおける施業群別面積等

(単位：面積 ha、伐期齢 年)

施 業 群	細 分	面 積	取 扱 い の 内 容	伐 期 齢 又 は 回 帰 年
通常伐期	スギ分散伐区	3,527.08	森林の管理経営の指針による	50
	ヒノキ分散伐区	1,121.80	〃	55
	アカマツ分散伐区	116.76	〃	55
	カラマツ分散伐区	2,709.63	〃	50
	生物多様性復元	1,995.86	赤谷の森管理経営計画書による	50～55
長伐期	スギ長伐期	535.06	森林の管理経営の指針による	80
	ヒノキ長伐期	422.42	〃	80
	アカマツ長伐期	251.93	〃	80
	カラマツ長伐期	2,395.44	〃	80
	人工林整備型長伐期	352.82	赤谷の森管理経営計画書による	80
複層林	スギ複層林	323.47	森林の管理経営の指針による	50（注2）
	ヒノキ複層林	177.13	〃	55（注2）
	その他複層林	869.90	〃	50（注2）
天然林・その他	ぼう芽分散伐区	5.88	〃	25
	天然生アカマツ分散伐区	341.41	〃	55
	天然林複層伐区	1,602.07	〃	70
	択伐	17,024.94	〃	回帰年は定めない
	生物多様性維持	2,938.69	赤谷の森管理経営計画書による	定めない
	その他	372.35	森林の管理経営の指針による	定めない
設 定 外（注1）		919.43		定めない
合 計		38,004.07		

(注) 1. 施業群設定外は分収林、更新困難地等の特定の施業方法を設定することが適当でない林地とする。

2. 複層林の上層木の伐採は下層木の植栽から20年以上経過してから実施する。

3. 面積は林地面積を計上している。

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施 業 群	上限伐採面積	備 考
通 常 伐 期	918	スギ分散伐区 ヒノキ分散伐区 アカマツ分散伐区 カラマツ分散伐区 生物多様性復元
長 伐 期	247	スギ長伐期 ヒノキ長伐期 アカマツ長伐期 カラマツ長伐期 人工林整備型長伐期
複 層 林	194	スギ複層林 ヒノキ複層林 その他の複層林
天 然 林・そ の 他	2,095	ぼう芽分散伐区 天然生アカマツ分散伐区 天然林分散伐区 択 生物多様性維持 その 他
合 計	3,224	

(注) 備考欄は、施業群の細分である。

(4) 伐採総量

(単位：m3)

区 分			林 地					林 地 以 外	合 計
			主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ			7,657	77,532 (763.87)	85,189				
自 然 維 持 タイプ			—	—	—				
森林空間利用タイプ			6,355	53,882 (576.55)	60,237				
快適環境形成タイプ			—	—	—				
水 源 涵 養 タ イ プ	通常伐期	スギ分散伐区	45,054	72,288 (708.01)	117,342				
		ヒノキ分散伐区	—	29,326 (338.69)	29,326				
		カラマツ分散伐区	77,438	14,982 (205.68)	92,420				
		生物多様性復元	22,971	21,630 (197.82)	44,601				
	長伐期	スギ長伐期	—	8,343 (88.96)	8,343				
		ヒノキ長伐期	—	6,893 (86.58)	6,893				
		アカマツ長伐期	—	267 (2.90)	267				
		カラマツ長伐期	—	21,931 (290.63)	21,931				
		人工林整備型長伐期	—	17,913 (171.65)	17,913				
	複層林	スギ複層林	6,593	156 (1.75)	6,749				
		ヒノキ複層林	2,403	2,765 (31.83)	5,168				
		その他複層林	4,939	2,283 (40.60)	7,222				
	天然林・その他	天然林複層伐区	202	3,169 (42.78)	3,371				
		択 伐	3,188	766 (10.19)	3,954				
		そ の 他	—	2,671 (33.23)	2,671				
		設 定 外	156,536	1,771 (27.17)	158,307				
	計		319,324	207,154 (2,278.47)	526,478				
合 計			333,336	338,568 (3,618.89)	671,904	40,000	711,904	—	711,904
年 平 均			66,667	67,714 (723.78)	134,381	8,000	142,381	—	142,381

(注) () は、間伐面積(ha)である。

(再 掲) 市町村別内訳

(単位：m3)

市 町 村 名	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
沼 田 市	120,246	103,704	223,950				
片 品 村	34,437	41,992	76,429				
川 場 村	44,989	24,056	69,045				
昭 和 村	52,451	9,316	61,767				
みなかみ町	81,213	159,500	240,713				
合 計	333,336	338,568	671,904				

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山 地 災 害 防 止 タ イ プ	自 然 維 持 タ イ プ	森 林 空 間 利 用 タ イ プ	快 適 環 境 形 成 タ イ プ	水 源 涵 養 タ イ プ	合 計
人 工 造 林	単 層 林 造 成	85.40	—	3.40	—	753.03	841.83
	複 層 林 造 成	30.68	—	30.62	—	86.33	147.63
	計	116.08	—	34.02	—	839.36	989.46
天 然 更 新	天然下種第1類	0.42	—	—	—	—	0.42
	天然下種第2類	30.08	—	—	—	20.89	50.97
	ぼう芽	0.65	—	—	—	11.53	12.18
	計	31.15	—	—	—	32.42	63.57
合 計		147.23	—	34.02	—	871.78	1,053.03

(6) 保育総量

(単位：ha)

区 分		山 地 災 害 防 止 タ イ プ	自 然 維 持 タ イ プ	森 林 空 間 利 用 タ イ プ	快 適 環 境 形 成 タ イ プ	水 源 涵 養 タ イ プ	合 計
保 育	下 刈	287.95	—	51.02	—	1957.94	2296.91
	つ る 切	57.80	—	8.72	—	256.76	323.28
	除 伐	59.91	—	6.32	—	215.17	281.40

3 特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積

所 在 地 (林 小 班)		面 積 (ha)
1	い〜ほ1、へ〜ち、る1、そ、ま1〜ま3、け2、け4、け6〜ふ	4,414.52
2	ら〜う3	
3	い1、ろ〜と1、と3、と6、と8、ち、わ、れ、そ、む1〜む3、	
	う2〜う4、く、や3、こ、え	
4	い、に	
5	い1、い2	
6	ろ1、ろ2、る2、る4、か	
7	わ、む	
8	い4、い5、い10、い12、る4、る7、か	
9	ろ1	
17	い1、い4、い7、い12〜ろ2、ろ8、ろ11、ろ12、り、ぬ、れ、ね2	
18	に、と〜ぬ、わ、か、よ2〜よ4、よ6、た2〜そ、な1、な4、な5、ら5	
20	い1、い2	
21	い1、ろ、に〜へ	
22	い1〜い7、ぬ、る2、る3	
23	い1、い2、い14、い20〜は、ほ1〜ち9、ち11〜ち13、ぬ、る3、る4、	
	わ2、な	
32	う2	
33	い1、に1〜に3、り、ぬ	
34	ろ1、は2、は3、に、り1、り2、る1、よ〜そ、つ2、ね、ら、う1	
35	ち、か2、か4	
36	ろ	
37	い〜と	
38	は2〜に、と3〜と5、り2、る1	
40	り2〜る1、わ1	
41	い、ろ、に1、に2、た1〜れ	
42	い2、に、ほ、り1、よ1〜よ4、そ2、む	
43	へ、つ	
44	ほ4、ほ5、へ〜り、る1、わ、か1、か3、た、れ、ら1〜む、お2、や	
45	か3〜か7、よ、ら2	
52	ろ1、ろ2	
55	い、に5、ほ1、る1	
56	ぬ	
57	ね、ま、け	
58	か、ら	
60	と、ち、ぬ、か2〜よ、え	
63	い〜は、と、り、る2	
64	い2、い3	
65	ろ、ほ2〜へ2	
66	い3、い4、る1、る2	
67	に、ち、り2	
68	り	
72	い4	
75	い、は、に、と1、と3、と5、わ3、わ4	
87	い〜に、と、ら	
88	は、へ	
89	い3、い4、は〜ほ1、ほ3、と2、と3、ち1	
110	ほ1、ほ2、と、る2、ね4、ね5、む3	
111	わ3、か	
112	へ1、へ2、と、た3、れ2、つ	
114	い2、は、ち1	
115	に1〜に3、ほ1〜ほ3、ち〜ぬ、る2、わ1	

所在地 (林小班)	面積 (ha)
116	ろ1～は、ぬ
118	い、は、に、と、ち1、た4～た6、た9、れ
119	れ、な1、う2、お1、く、や1、ま
126	は、へ
127	に1、ほ1、ほ3、へ、と
128	ろ、ほ、と、る1、か1
130	は2、は4、に5、ほ1、ほ2
133	い2、は1、に1、に3、に4、ほ1、ほ2、ほ5、ち1～ち3、る2、わ1、わ2、わ6、わ8
134	い1～い3、は、か2、た、そ
138	い2、い4、い7、い9、は、に
139	は、ほ1～ほ3、と2、と3、り2、り3、る1、る2、る5、る6、か1、か2、た1～そ2、ね1～ね6、な1～む
140	い1～い5、ろ1、ろ2、ろ4～へ、ち～る、か、た1～た3、そ、つ、な、む、う3、う5、や1～や3
141	い1、い2
142	い1～い6、は、へ1～と2、と4～ち、る、わ3、わ4、わ6～わ11、か1、か2、よ2～よ5、た～れ2、そ3～そ6、つ
143	ろ2～ろ10、へ、ぬ、る、か1～た
144	に1、に2、に6、に7、る3、わ1、わ2、た、な1～な4、あ1、あ2
147	の1、お～や4
153	い1～ほ、と～り、る1～よ、れ、そ、ら1、む1、む2、の、お
154	い～へ1
155	い～ろ2、は、ほ～り2、る1、わ～た、そ2～の2、の4～ま
156	い1～は、ほ～ぬ1
157	は、に2～へ2、ち～わ1、よ～つ2、な～ら5、む1～う2
158	い1、い2、い5、い6、い8～り1、ぬ1～る2、か1、か2
159	い1、い2、い4、ろ、に～ち、ぬ～わ、よ3
160	い1～い3、い6、い8、い9、ろ、に、へ1、へ7、と1、と3～と5、ぬ、る1、わ1、か1、か2、た
161	い1～い5、ほ1、ほ2、へ～ち5、り1～ぬ2
162	に2、に6～に8、に13、よ2、よ3、よ6～よ8、た
163	い、は1～に3、へ5、と、ち2、ち3、り2
164	い～は
202	も10～せ5、す3
204	は2、と、よ～た2、れ、そ
205	か、よ、つ
206	い3、い4、い9、い11～い16、ろ4、ろ6、は、ほ、ぬ
207	は4、わ4、か1、か5、か6、か8、か9、よ
208	に、ほ、り～そ2、な、ら、の1、の2、え1～て
209	り～ぬ4、わ～よ、れ1～つ1、つ3
210	け～ふ2
211	ほ2～と、り、ぬ、る2、よ1、れ、の2、お、く、ま～け2、こ～あ3、あ5、も1～せ
249	あ
250	い～は1、に、ほ
251	る1、る2
252	る2
253	い、ぬ
254	ら2
258	む、う2、の、く1
259	ち～ぬ、よ、そ～ね、な2、ら、う1、う2、く2、こ3、さ
260	よ、た

所 在 地 (林 小 班)		面 積 (ha)
302	ら、う1、う3、ま3、ま4、こ、め、し1、し2、も2～も5、せ1～せ8、 せ11、せ12、す3、す5、す11、す15、す17、す18	
303	い～は、ぬ～る2、る4～わ、つ1、ら1～ら6、の、く2	
304	い、に4、ほ、へ、わ1、か1、よ、た、ら1、ら3、ら4、む、こ、 て1、あ1、あ2	
305	い1、い2	
307	ぬ、る2、か2、そ	
312	ね、み2	
328	り、れ1～つ3、お1、く2～く4、さ、ゆ	
329	ね1、ね3	
330	い、か2	
331	ろ、ぬ、る2、よ、た、そ	
332	に3、そ2、つ、う1～ま、ふ	
333	ろ	
336	れ2～そ、ね	
359	ろ3、ろ6	
360	は1、は2、に1	
362	は、に、わ、れ、ね1、む1	
363	ち1、ち3、り3～ぬ、わ1、わ3～わ6、よ、た、な1～な3	
364	る2	
372	は	
373	な1、な2	
374	は1、は2、に1、に2	
378	い、ろ、に、へ、ち～ぬ、る2	
383	い3、い4、い9、と1、と2、と4、と5	
384	い、も2	

4 林道等の整備に関する事項

基 幹・ その他別	開 設 ・ 改 良	路 線 名	箇 所 (林 班)	延 長 (m)	備 考
基 幹	改 良	石墨林道	1	100	
		新地林道	133	12	
		倉見沢林道	122外	5,800	
		ケヤキ沢林道	121	20	
		こもぎ林道子捨沢支線	114	750	
		二又沢林道	142	17	
		武尊・塗川（江戸沢）林道	52	30	
		昭和林道	158外	800	
		糸之瀬林道	157	1,000	
		雨見林道	212外	22	
		保土野林道	213	200	
		万沢（赤沢）林道	216	139	
		赤谷林道	239	420	
		檜俣林道	363外	42	
		宝川（宝川）林道	336	300	
	小 計	15路線		9,652	
そ の 他	開 設	旭林業専用道	164	970	
		石墨林業専用道	1	600	
		大戸屋林業専用道	6	970	
		栄沢林業専用道	106外	1,610	
		日向平林業専用道	76	2,100	
		平原林業専用道	75外	3,870	
		アテラ沢林業専用道	63	1,860	
		ヨシノ沢林業専用道	58	4,440	
		富士山林業専用道	21	2,430	
		富士山第2林業専用道	22	1,130	
		田代川林業専用道	36外	7,720	
		中野林業専用道	39外	3,640	
		船ヶ鼻第2林業専用道	153外	510	
		糸之瀬林業専用道	155外	3,560	
		昭和林道糸之瀬支線林業専用道	159外	3,430	
		昭和林道糸之瀬支線第2林業専用道	157外	2,830	
		南ヶ谷林業専用道	247外	2,130	

基 幹・ その他別	開 設 ・ 改 良	路 線 名	箇 所 (林 班)	延 長 (m)	備 考
そ の 他	開 設	境野林業専用道	249外	4,120	
		小出俣林業専用道	243外	1,330	
		富士新田林業専用道	246外	4,230	
		富士新田第2林業専用道	246	1,630	
		三国峠林業専用道	226外	10,920	
		境沢林業専用道	201	640	
		高畑林業専用道	209外	940	
		押野沢林業専用道	209外	917	
		大峰林業専用道	250	3,970	
		大峰林道大沼支線林業専用道	254外	3,530	
		恋沢林業専用道	313	1,910	
		峠の沢林業専用道	331	840	
	小 計	29路線		78,777	
	改 良	大日沢林道	163	15	
		新地林道袈裟丸支線	131	86	
		穴倉林道	119	30	
		三峰林道三峰支線	258	20	
		南山林道	203	50	
		法師林道	217	850	
		手小屋林業専用道	370外	600	
		大沢林道	370	13	
		檜俣林道座々良支線	360	30	
		先倉林道	363	70	
		矢田沢林道	362	20	
	小 計	11路線		1,784	
計	開 設	29路線		78,777	
	改 良	26路線		11,436	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、計画箇所以外においても実行できるものとする。

5 治山に関する事項

位 (林 班)	市 町 村	区 分	工 種	計 画 量
6、8、41、75、76、78、79、 81、82、84、87～89、91～94、 96、98～101、103～106、109、 110、116、123、124、 144～152、165～167	沼 田 市	保 安 施 設	溪 間 工 山 腹 工	21か所 9 か所
44、45、47、49～51、57、62、 70～72、74	片 品 村		溪 間 工 山 腹 工	7 か所 6 か所
20、33	川 場 村		溪 間 工	2 か所
157	昭 和 村		溪 間 工	1 か所
205、206、208～210、213、 215、216、220～222、224、 226～228、241、243、244 249～252、260、302～304、 307、311、313、314、 317～319、323、324、326 327、328、330、331、 333～336、338、340、354、356 357、359、360、362、364、365 368～372、378、379、 382～385、388	み な か み 町		溪 間 工 山 腹 工	29か所 8 か所
249～251		地すべり防止		
合 計		保 安 施 設	溪 間 工 山 腹 工	60か所 23か所
		地すべり防止	山 腹 工	1 か所

(注) 1 か所数は、単位流域を1か所として集計。

2 災害復旧等緊急を要する工事については、計画箇所以外においても実行できるものとする。

6 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

当計画区では、原生的な森林生態系からなる自然環境を有する森林及び希少な野生生物の生育・生息に必要な森林の保護・管理を目的とした保護林を下記のとおり設定し、自然環境の維持・保存等に配慮の上、適切に保護・管理を図ることとする。

区 分	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
森林生態系 保護地域	利根川源流部 ・ 燧ヶ岳周辺 <small>ひうちがだけ</small>	保存地区 3,861.67	347-V に、ほ イ4～イ7 347-VI は～イ6	利根川源流部・燧ヶ岳周辺の植生は、亜高山帯にオオシラビソ群落、山地帯にブナ群落等が広がり、雪蝕地形にミヤマナラ群落、稜線にチシマザサ草原等が生育している。 平ヶ岳周辺の稜線付近では、コメツガ群落、オオシラビソ群落、雪田植物群落、湿原植生等が生育し、丹後山の山腹斜面にはブナ群落、尾根上部には自然低木群落等が生育している地域である。	
		保全利用地区 7,792.10	347-I ～IV 全 347-V い～は イ1～イ3 347-VI い、ろ 347-VII 全		
計	1か所	11,653.77			
希少個体群 保護林	<small>たんばら</small> 玉原 アスナロ	5.73	17 る2～か2	大径木の古い伐採跡（針葉樹）があることから、伐採後のアスナロー斉林と考えられるが、原生林に準ずる林相を有し、学術上、森林施業上の考証として貴重な森林である。	

区 分	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
希少個体群 保 護 林	武 尊 山 シラカンバ 遺 伝 資 源	8.60	52 り2	南東北及び関東地方において、他には類を見ない高密度でシラカンバが生育する群落で、学術上、遺伝資源の保護上貴重な森林である。	
	栗 原 川 ウダイカンバ 遺 伝 資 源	11.75	100 に1	南東北及び関東地方において、他には類を見ない高密度でウダイカンバが生育する群落で、学術上、遺伝資源の保護上貴重な森林である。	
	法師クロベ	17.41	216 え1～え3	斜面上部にクロベが優占し、コメツガが混生する利根上流地域には珍しい、原生的な森林である。	
	谷 川 岳 サワグルミ 遺 伝 資 源	8.28	319 ろ1	特殊な立地（崖錐堆積地）に成立しているサワグルミ群落で、遺伝資源の保存に極めて貴重な森林である。	
計	5 か所	51.77			
合 計	6 か所	11,705.54			

(注) 面積欄は、設定区域の全体面積を計上しているが、実際の保護林の面積は、保護林に該当しない区域（貸付地等）を除外した面積である。

(2) 緑の回廊の名称及び区域

緑の回廊は、より広範で効果的な森林生態系の保護・保全に努めるため野生動植物の移動経路を確保し、生育・生息地の拡大と相互交流を促すことが適当と認められる国有林野であり、下記のとおり設定することとする。

名 称	延 長 (km)	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
緑 の 回 廊 三 国 線	36.1	5,047.17	217 ロ 218 ら～イ 219 ハ 220 た1、た2、 ニ1～ホ 222 わ、よ1～そ、 ハ、ニ 230 リ、ぬ 231 わ～ら、ロ 233 い～は2、ロ～ ホ 234～237 全 309 イ～ハ 310 ロ2～ロ4 318 ホ2～ホ4 319 イ2、イ6、イ7 ト1～ト9 ト13、ト14 335 に3、ロ1～ロ3 339 ろ～イ3	利根川源流部・燧ヶ岳 周辺林生態系保護地域と 佐武流山 ^{きぶりゅうやま} 周辺森林生態 系保護地域を結ぶ三国山 脈沿いで、急峻な地形や 積雪の影響を受ける厳し い立地条件に成立した天 然生林に囲まれた地域で あり、ツキノワグマやイ ヌワシ等の生息域となっ ている。	
緑 の 回 廊 日 光 線	7.6	1,275.18	62 い1～ね3	利根川源流部・燧ヶ岳 周辺森林生態系保護地 域、奥会津森林生態系保 護地域及び奥鬼怒生物群 集保護林を結ぶ天然生林 に囲まれた地域であり、 ツキノワグマ等の生息域 となっている。	
合 計	43.7	6,322.35			

(注) 面積欄は、設定区域の全体面積を計上しているが、実際の緑の回廊の面積は、緑の回廊に該当しない区域（貸付地等）を除外した面積である。

7 樹木採取区の名称、所在地及び面積

該当なし。

8 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然教育養林	武尊	1,393.57	29 ろ～に	山頂からの眺望景観、険阻な稜線を持つ雄大な山体、板状節理は発達しているが斑晶（結晶）に乏しい溶岩、垂直分布の顕著な植生、ブナ、ダケカンバ等の天然生林、田代湿原や花咲 ^{はなさく} 湿原に生育する湿原植物、多種の高山植物等に富んでおり、登山、キャンプ、自然探勝等の場として優れた森林レクリエーション的資源を有している。	育成複層林へ導くための施業（以下「育成複層林施業」という。） 間伐面積 28.17ha 天然生林へ導くための施業（以下「天然生林施業」という。）	実施主体：国 ・車道 ・歩道 実施主体：川場村 ・宿泊施設 ・野営場 実施主体：みなかみ町 ・歩道 ・園地 ・野営場 ・展望台 実施主体：片品村 ・園地 ・歩道 ・駐車場	国が実施する施設整備の計画なし。	
		森林スポーツゾーン 179.02	30 へ～り2、り5、ぬ					
		風景ゾーン 775.66	52 る1、る2					
		風致探勝ゾーン 221.75	53 い2～い4					
		自然観察教育ゾーン 217.14	27 い3					
			28 へ					
			29 ほ～へ2					
			30 り3、り4、る1～わ					
			48 や					
			49 よ					
			50 む、う					
			51 よ1、た1、た2、つ、ね					
			53 い5～い7、い10、ろ1、は～に2、に9～ほ7					
			54 ろ1～ろ3、は～ほ					
			366 へ3、り7					
			367 い～り7、る1～る3					
			369 わ、か					
			371 れ					
			374 わ2					

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
自 然 休 養 林	武 尊		26 イ 27 イ 29 イ 30 イ、口2、口4 48 ニ 49 口 50 口 51 イ、口 52 口 53 イ 366 イ1 367 イ、口		林 地 以 外			
計	1 か所	1,393.57						

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
自然 観 察 教 育 林	玉 原	128.01	13 い1 ----- 13 イ1～イ4、ハ	武尊山の西方山腹に位置し、「ブナ平」と呼ばれるブナを主とした天然生林や「小尾瀬」とも呼ばれている「玉原湿原」があり、ミズバショウ、キンコウカ等の湿原植物が見られ、自然観察に適し、利用者が多い。	天然生林施業 林地以外	実施主体：沼田市 ・歩道	国が実施する施設整備の計画なし。	
	はり 針 やま 山	0.57	46 か1	片品村花咲集落の北西約700mに位置する湿原で、この地域では珍しいザゼンソウの群生地であり、地域の小中学生や観光客等に利用されている。	天然生林施業	既存の施設なし	〃	
	こし 越 もと 本	4.71	58 お、ま、て2 ----- 58 く ----- 58 ロ	片品村越本集落の北西約1,500mに位置する湿原で、ミズバショウの群生地を始め、湿原植物の観察等に優れており、地域の小中学生や観光客等に利用されている。	育成複層林業 間伐面積 1.92ha ----- 天然生林施業 林地以外	実施主体：片品村 ・歩道	〃	

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
自 然 観 察	あめごい やま 雨 乞 山	164.66	39 に1～へ、ち、 わ～れ3、れ5、 れ7、そ1～つ	川場村役場の東方3.4 kmに位置し、下部はス ギ、カラマツ人工林、 上部はミズナラ等の広 葉樹林である。 雨乞山への登山道が 整備され、川場村との 交流都市である世田谷 区の小学生や一般利用 者の自然観察等に利用 されている。	育 成 複 層 林 業 施	既存の施設なし	国が実施する施設 整備の計画なし。	
			39 と、り、れ4、 れ6、れ8		天 然 生 林 施 業			
			39 イ1～イ3		林 地 以 外			
教 育 林	一ノ倉・ マチガ沢	96.51	319 ろ2、は、ほ1、へ	谷川岳北東面の一ノ 倉沢及び東面のマチガ 沢周辺に位置する。 夏でも残雪を従えた我 が国屈指の岩壁を誇る 一ノ倉沢では、残雪や 紅葉と岩壁の織りなす コントラストが魅力的 で、多くの観光客が自 然探勝の場として利用 している。	天 然 生 林 施 業	実施主体：国 ・歩道 実施主体：群馬県 ・野営場 ・園地	〃	
			319 イ1、イ11～ホ2		林 地 以 外			
計	5 か所	394.46						

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
森 林 ス ポ ー ツ 林	玉 原	202.35	10 ろ、は、ほ、 と～よ3	武尊山の西方山腹に位置し、玉原湖サイクリングコース、多目的広場、宿泊施設等が設置され、玉原高原における総合的な利用が図られている。	育 成 複 層 林 施 業 天 然 生 林 施 業 林 地 以 外	実施主体：沼田市 ・歩道 ・自然観察林 実施主体：民間 ・宿泊施設	国が実施する施設整備の計画なし。	
			10 い、に、へ1～へ3 10 イ～ハ2					
森 林 ス ポ ー ツ 林	かわば 川 場	8.89	25 ほ3、へ2、ち2、 り11	川場村木賊集落の北方約2kmの川場谷沢の左岸に位置し、キャンプ場として地域住民はもとより、周辺市町村の小中学生に利用されている。	育 成 複 層 林 施 業 天 然 生 林 施 業 林 地 以 外	実施主体：川場村 ・歩道 ・園地 ・運動施設 ・野営場 ・花木園 ・樹木園	〃	
			25 に3、と 25 イ					
計	2 か所	211.24						

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	玉 原 スキー場	674.10	15 ほ1	<p>武尊山の西方山腹、標高1,000～1,300mに位置している。また、関東地方ではあるが日本海側型気候を呈し、積雪量は豊富である。</p> <p>傾斜は、10～30°で、初級者から上級者まで楽しめる起伏に富んだスキー場として、群馬県はもとより首都圏からの利用で賑わっている。</p> <p>初夏には、ゲレンデを利用したラベンダー園、夏季にはキャンプ、テニス等の利用者が多い。</p>	育成単層林へ導くための施業（以下「育成単層林施業」という。）	実施主体：沼田市	国が実施する施設整備の計画なし。	
			11 ろ2、は、り 12 い3、ろ1、は2、へ 14 ち1～ち4、ぬ1～ぬ3、る2 15 に、ほ2、へ	間伐面積 10.40ha	育成複層林施業	実施主体：民間		
			11 ろ1、に～ち、ぬ 12 い1、い2、い4～い10、ろ2、は1、は3～ほ 13 い2～い8 14 は3、り、る1、わ2、わ3 15 い3、は、と2～ぬ、る4、る5 16 わ3、わ4 377 て2	天然生林施業		・歩道 ・園地 ・運動施設 ・休憩施設 ・野営場 ・リフト ・休憩施設 ・宿泊施設 ・花き園		

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
野	玉 原 スキー場		11 ハ5～ホ2 12 イ1～ニ2 13 ロ 16 イ2		林 地 以 外			
外	川 場 スキー場	495.12	20 い2	武尊山南西部の標高 1,000～1,800mの山腹 に位置し、日本海側型 気候の影響を受け、雪 質は乾性、積雪量は豊 富であり、変化に富ん だスキー場で、群馬県 はもとより首都圏から の利用者で賑わってい る。	育 成 単 層 林 施 業	実施主体：民間 ・リフト ・休憩施設	国が実施する施設 整備の計画なし。	
ス			16 め2 18 ら6 19 ろ、に～へ4、へ7、 へ10～ち1、 ぬ2、ぬ3、ぬ5		主伐面積 4.80ha			
ポ			20 ろ～に、と、ち1、 ち3～り、る1、 る3～わ1		育 成 複 層 林 施 業			
ー			21 と4、と5、ち2～ぬ2 22 わ2 24 り3、る4		間伐面積 55.93ha			
ツ			14 よ3 15 る2 16 る2、わ5 19 は、へ5、へ6、へ8、 へ9、ち2～ぬ1、 ぬ4		天 然 生 林 施 業			
地			20 ほ、へ、ち2、ぬ、 る2、わ2					
域			21 る					

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
野 外	川 場 スキー場		24 る2 26 い5		天然生林施業			
			19 ロ～ニ 20 イ～ニ 21 イ		林地以外			
ス ポ ー ツ 地 域	武 尊 スキー場	419.47	46 ろ1～ろ3、 ろ5、ろ6、ち4、 り2、り4、り5、 ぬ2、る2、わ、 か2、よ、た2、れ 47 い3、い4、 は1～に5、ほ3、 ち3～り2、 る1～る5、 る7、わ、た、れ2 48 う7、の2、の4	武尊山南東麓に位置し、雪質は良質で積雪量も豊富であり、変化に富んだスキー場として優れていることから利用者が多い。	育成複層林業	実施主体：国 ・駐車場 実施主体：片品村 ・リフト ・休憩施設 実施主体：民間 ・休憩施設	国が実施する施設整備の計画なし。	
			46 ろ4、ろ7、り1、 り3、り6、た1 47 ほ1、ほ2、へ～ち2、 ぬ、る6、か5、よ 48 う8～う10、の3、 の5～の7、く		間伐面積 44.46ha 天然生林施業			
			46 イ、ハ1～ハ3 47 イ1～ホ2 48 ハ1、ハ2		林地以外			

種 類	名 称	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	四季の森 ホワイト ワールド 尾瀬岩鞍 <small>おぜいわくら</small>	455.78	59 え	武尊山東麓で片品村 <small>つちいで</small> 土出地区の西方2kmに 位置し、雪質は乾性 で、積雪量が豊富なこ とから、12月下旬から 4月下旬まで滑走可能 な優れたスキー場であ り、首都圏からの利用 者も多い。	育 成 単 層 林 施 業	実施主体：民間 ・リフト等 ・休憩施設	国が実施する施設 整備の計画なし。	
			53 い8 54 い6、い15、い16、 ろ4、と1、と2、と4～ ち1、ぬ1、ぬ3、る1 59 よ1、た、れ1、 ら～う1、の1、の2、 や1、や2、ま2～ま4、 ふ、て、あ1、 き2～め、し1 60 る3、つ2、ね2		主伐面積 1.94ha 育 成 複 層 林 施 業			
			53 い9 54 い5、い10～い14、 へ、と3、ち2、り、 ぬ2、る2～よ 59 れ2、な3～な5、 う2、う3、お、く、 ま1、こ、あ2～き1、み 60 な2、な3		天 然 生 林 施 業			
			54 イ1～ハ5 59 イ2～イ5、ニ1～ニ4、 ホ1、ト 60 イ1		林 地 以 外			

種 類	名 称	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	かたしなこうげん 片品高原 スキー場	117.16	54 い7、い8 55 る3 58 ゆ2、め2～み 59 い～ほ、と～る5、 か、つ～な1 ----- 54 い9 59 へ1、へ2、わ1、わ2、 よ2、よ3、れ3、そ、 な2 ----- 58 イ 59 イ1、ロ1～ハ、ニ5、 ホ2	武尊山東麓で片品村 土出地区の西方2kmに 位置し、四季の森ホワ イトワールド尾瀬岩鞍 と隣接しており一体的 利用が可能となってい る。雪質は乾性で、積 雪量が豊富なことから、 12月下旬から3月 下旬まで滑走可能な優 れたスキー場であり、 首都圏からの利用者も 多い。	育 成 複 層 林 業 施 ----- 天 然 生 林 施 業 ----- 林 地 以 外	実施主体：民間 ・リフト等 ・休憩施設 ・宿泊施設 ・運動施設	国が実施する施設 整備の計画なし。	
	おげとくら 尾瀬戸倉 スキー場	156.22	61 い、は1、に1、に2、 と、わ1～か、れ、 う1、の、く2～ま、 ふ、こ ----- 61 ろ、は2、ほ～へ2、 ち1～る3、よ1～た、 そ、つ2、む、 う2～う5、お、く1、 け、え1 ----- 61 イ1～ニ1、ホ	片品村の北部に位置 するスキー場で、雪質 は乾性で積雪量は豊富 であり、変化に富んだ スキー場である。	育 成 複 層 林 業 施 間伐面積 4.29ha ----- 天 然 生 林 施 業 間伐面積 2.17ha ----- 林 地 以 外	実施主体：片品村 ・スキー学校 ----- 実施主体：民間 ・リフト等 ・宿泊施設 ・休憩施設	〃	

種類	名 称	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	いと の せ 糸 之 瀬 スポーツ林	17.87	157 い、ろ	あかぎやま 赤城山の北西山麓に位置し、主にカラマツ人工林で地形は緩やかであり、森林空間を利用したスポーツ施設等の設置に適している。隣接民有地には、昭和村の友好都市である横浜市が設置した野外活動基地があり、当該施設と一体的に活用されている。	育 成 複 層 林 業 施 業 林 地 以 外	実施主体：横浜市 ・歩道 ・管理棟等 ・多目的広場 ・運動施設	国が実施する施設整備の計画なし。	
			157 イ、ハ					
ポ ー ツ 地 域	おお みね やま 大 峰 山 スポーツ林	140.90	251 る1、る2 252 る2 253 い	大峰山南東山腹に位置し、サイクルスポーツと森林レクリエーションを組み合わせたレクリエーションの森である。	育 成 単 層 林 業 施 業 主伐面積 11.44ha	実施主体：民間 ・運動施設 ・野外広場 ・休憩施設	〃	
			250 は3 251 い1、ろ～に1、 ほ～ぬ、わ3、わ4、 つ2～な3、む2、む3、 う2、う3 252 ほ2、へ2、ち2～ち5、 ち8、り2、ぬ、る1、 わ1、わ2、か2、よ 253 ろ、は、に2、ほ2、 へ2、と2、る2、る4、 わ、か3、か4、か6 254 は2、わ		育 成 複 層 林 業 施 業 間伐面積 29.82ha			

種類	名称	面積 (h a)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
野外スポーツフィールド	大峰山 スポーツ林		250 へ 251 い2、に2、ら1、ら2 ----- 251 イ1～ト5、ヌ1～ヌ3 252 イ1、イ2、ハ1 253 ロ		天然生林施業 ----- 林地以外			
			216 に、ち1、り1 217 い、ろ1 221 う2 ----- 216 い、は、ほ1～と2 220 に 221 い1 ----- 216 イ1、イ2、ハ		育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外			
	あかさわ 赤沢 スキー場	110.21		みなかみ町南西部の新潟県境近くに位置し、日本海側型気候の影響を強く受け積雪量が多い。 下部の傾斜は緩やかであるが、上部は比較的急傾斜で変化に富み、初級者から中級者まで楽しめるスキー場である。		実施主体： みなかみ町 ・リフト等 ・休憩施設	国が実施する施設整備の計画なし。	現在、営業を停止し、事業の廃止を検討中である。
ツ地	おくとね 奥利根 スノーパーク	157.07	384 は1、つ4～ね1、ひ2～ひ5、ひ8、も9、せ3、せ5、せ6、す4、す5 386 ら ----- 381 ち 382 と 383 に 384 に、つ2、つ3、ね2、の1、め、ひ1、ひ6、ひ7、せ1、せ2、せ4、せ7～す3、す6～す9 386 む1、む2	湯檜曽地区南東部に位置し日本海側型気候の影響を受け、積雪量、雪質ともに良好で初級者から上級者向けのスキー場である。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業	実施主体：民間 ・リフト ・休憩施設	〃	

種 類	名 称	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
野	奥 利 根 スノーパーク		383 ハ 384 イ、ハ、ト		林 地 以 外			
外	ホホワイト バレー スキー場	82.95	312 む、の2、お、や、 け～え、ゆ6、ゆ7、 せ3 ----- 312 ん2、な2、ら、く ま、て1、あ、き、 ゆ5、せ1、せ2、 せ4～す2 ----- 313 け2 ----- 312 イ2、ロ3、ハ	谷川岳南東部の谷川 温泉の北東部に位置す る。 山麓部は緩傾斜地、上 部は比較的急傾斜地で 初級者から上級者まで 楽しめるスキー場であ る。	育 成 複 層 林 業 施 間伐面積 0.98ha ----- 天 然 生 林 施 業 ----- 林 地 以 外	実施主体：民間 ・リフト ・休憩施設	国が実施する施設 整備の計画なし。	
ス								
ポ								
ー	てん じん だい 天 神 平 スキー場	210.29	318 ヘ ----- 312 と2、ち2、り2 316 よ～れ 317 い1～に 318 い～は1、ほ 323 ん ----- 310 ハ 312 イ1、ホ2 316 イ1～ロ1、ロ3 317 イ3～ハ3 318 イ1～ニ 323 ロ1～ロ3、ニ2～ニ3	谷川岳南東部の稜 線、天神平から湯桧曾 川に至る標高700～1,45 0mに位置している。 日本海側型気候の影 響を受け、降雪も早 く、積雪量、雪質とも に恵まれている。11月 月上旬から5月までスキ ー場として利用され、 夏季から秋季には登 山、自然探勝等の利用 客が多い。	育 成 複 層 林 業 施 天 然 生 林 施 業 ----- 間伐面積 0.31ha ----- 林 地 以 外	実施主体：群馬県 ・園地 ・休憩施設 実施主体：民間 ・リフト等 ・休憩施設 ・歩道 ・園地 ・展望台	〃	
ツ								
地								
域								

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
野外スポーツ地域	あづまやさん 吾妻耶山 スキー場	169.77ha	<div>301 い、ろ、に、と、ぬ1～ぬ3、る1、る2、わ1、わ2、よ～れ、つ、ね、ら、む1、の1、お1、お2、く、ま、え1～え3、え5～え7、さ、き</div> <div>302 る4、か2、た2</div> <div>301 は、ほ、へ、ち、り1、ぬ4、る3、か、そ、な、む2、う、の2、お3、や、け～こ、え4、え8～あ、ゆ</div> <div>302 る2、る3</div> <div>301 イ1～ニ</div>	<p>みなかみ町南西部の吾妻耶山南東山腹の標高800～1,000mに位置し、傾斜は10～30°で起伏に富み、日本海側型気候の影響を受け、積雪量は豊富である。</p> <p>関越自動車道水上インターチェンジより至近で利便性も高い。</p>	<div>育成複層林業</div> <div>間伐面積 1.98ha</div> <div>天然生林施業</div> <div>林地以外</div>	<p>実施主体：民間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフト ・休憩施設 	国が実施する施設整備の計画なし。	
計	13か所	3,206.91						

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
風	赤 城 山	92.19	149 わ6、ら1～む	赤城山の西面に位置し、眺望に優れ、紅葉等が一体となった自然景観を有している。	育 成 複 層 林 施 業 天 然 生 林 施 業 林 地 以 外	既存の施設なし	国が実施する施設整備の計画なし。	
			149 れ3、ね、な2					
			149 イ、ロ					
致	吾妻耶山	104.72	301 り3	みなかみ町南西部の吾妻耶山（1,323m）山頂からの眺望と山頂付近に群生するシャクナゲの開花期には優れた森林景観を呈する。 山頂付近の吾妻山神社の背景林ともなっており、地元住民はもとより、小中高生等のハイキング、自然探勝等利用者は多い。	育 成 複 層 林 施 業 天 然 生 林 施 業	実施主体： みなかみ町 ・歩道	〃	
			246 も～す					
			247 れ、そ					
探			301 り2					
			302 れ、そ					
			303 な					
勝	大 峰 山	48.24	252 た3、た4、れ～つ	みなかみ町南西部の大峰山南東山腹に位置し、大峰沼の浮島及び湿原植物や古沼のモリアオガエル繁殖地、新緑、紅葉など優れた自然美を有している。	育 成 複 層 林 施 業 天 然 生 林 施 業 林 地 以 外	実施主体： みなかみ町 ・歩道 ・園地 ・野営場 ・管理棟	〃	
			253 ち、つ、な、ら、う1、の					
			253 ね、む、う2、お					
林			252 ハ2、ハ3					
			253 イ					

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
風 致 探 勝 林	みつ みね やま 三 峰 山	82. 89	1 よ 255 ろ、は、へ ----- 1 か 255 い、に、ほ、と1 ----- 1 ロ1 255 イ、ロ	沼田市北西部に位置し、稜線が台地状の山体で眺望に優れ、三峰山南端にある河内神社の背景林となっている。	育 成 複 層 林 施 業 ----- 天 然 生 林 施 業 ----- 林 地 以 外	実施主体： みなかみ町 ・ 歩道	国が実施する施設整備の計画なし。	
	うら み たき 裏見の滝	1. 39	375 へ ----- 375 イ		天 然 生 林 施 業 林 地 以 外	実施主体： みなかみ町 ・ 歩道		
計	5 か所	329. 43						

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
そ の 他 (レ ク リ エ ー シ ョ ン の 森 施 設 敷)	かさ が たけ 笠ヶ岳 避難小屋	0.01	334 ロ	単独レクリエーション 施設	林 地 以 外	実施主体： みなかみ町 ・避難小屋	国が実施する施設 整備の計画なし。	
	たに かわ だけ 谷川岳 肩ノ小屋	0.04	310 イ1	〃	〃	実施主体：群馬県 ・避難小屋	〃	
	てんじん お ね 天神尾根 熊穴小屋	0.01	310 イ2	〃	〃	実施主体：群馬県 ・避難小屋	〃	
	藤原ダム 駐 車 場	0.20	382 イ	〃	〃	実施主体： みなかみ町 ・駐車場	〃	
	な め ぎわいり 奈女沢入 園 地	0.07	262 ロ	〃	〃	実施主体：民間 ・園地	〃	
	武 尊 避難小屋	0.01	372 イ	〃	〃	実施主体：群馬県 ・避難小屋	〃	
	たいらつびよう 平標 山 の 家	0.12	233 イ	〃	〃	実施主体： 国（環境省） ・避難小屋 実施主体： みなかみ町 ・避難小屋 ・野営場	〃	
	ほうし おんせん 法師温泉	0.01	220 ハ	〃	〃	実施主体：民間 ・温泉湧出口	〃	
	めいじがくいん 明治学院 大学山荘	0.01	52 り1内	〃	〃	実施主体：民間 ・山小屋	〃	

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
計	9 か所	0.48						
合 計	35か所	5,536.09						

9 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全等に関する事項

(1) 森林共同施業団地の名称及び区域

該当なし。

(2) 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし。

10 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種 類	名 称	設定年月	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
施業指標林	小面積皆伐及び 非皆伐施業指標林 (子持山施業指標林)	昭和51年3月	29.38	162に2～に20	高密路網を開設し、 一伐区の縮小及び非皆 伐による樹下更新のモ デル施業を実施する。
施 業 指 標 林 計			29.38		
試 験 地	宝川森林理水試験地	昭和9年	114.34	336に～か ニ	森林の理水試験
	ササ生地等における 広葉樹の保育方法に ついての試験地	平成4年4月	0.10	367ろ2内、 ろ4内	天然下種更新施業方 法におけるササ等の刈 払方法、稚幼樹の保育 方法等について調査・ 研究。
	低コスト化を目指し た人工造林技術の研 究のための試験地	平成元年4月	1.43	162に15	造林事業の省力化に より低コスト化を図 る。
	森林の風致維持管理 等のあり方について の研究のための試験 地	平成2年4月	3.96	148て内、 き3、ゆ1内	レクリエーションの 森及びその周辺の森林 を対象にした風致維持 管理手法のあり方につ いて研究。
	階段造林事業化試験 地	昭和37年	25.35	116は 130に1、に5 156と	中、急傾斜地におけ る造林作業の機械化及 び能率化を図る。
試 験 地 計			145.18		

種 類	名 称	設定年月	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
展 示 林	モミ展示林	昭和46年3月	0.46	148あ1	地元造林功労者 功績保存林
展 示 林 計			0.46		
次代検定林	一般検定林 (関前第17号)	昭和49年4月	2.33	157ぬ4	遺伝的生産能力の 検定 (カラマツ)
	一般検定林 (関前第4号)	昭和45年4月	1.63	162る2	遺伝的生産能力の 検定 (アカマツ)
	一般検定林 (関前第13号)	昭和48年4月	2.23	203よ3内	遺伝的生産能力の 検定 (アカマツ)
次 代 検 定 林 計			6.19		
遺 伝 子 保 存 林	カ ラ マ ツ	昭和53年4月	1.50	55ろ5	長野南アルプス産
遺 伝 子 保 存 林 計			1.50		
溪 畔 保 全 プロジェクト林	(設 定 河 川 等) 利 根 川 (茂 倉 沢)	平成28年3月	(設定 延長) (m) 4,000	225か～な1、 ら1～む 226～227全 228り2～ り7、り9 ～ら2、 ロ1～ロ3	溪畔周辺に本来成立 すべき植生(潜在自 然植生)の再生・復 元、溪畔周辺の保全 及びその機能や役割 の維持・増進を図 る。
溪畔保全プロジェクト林計			(設定 延長) (m) 4,000		

(2) フィールドの提供

対象地（林小班）	設定の目的	備 考
39に2内、40わ2内	ふれあいの森 （雨乞山ふれあいの森）	設 定：平成28年4月 実施主体：川場村 面 積：0.51ha
366に内	ふれあいの森 （奥利根ふれあいの森）	設 定：平成12年9月 実施主体：木もく倶楽部 面 積：33.23ha
360に8	社会貢献の森 （CCC創造・再生の森）	設 定：平成23年4月 実施主体：特定非営利活動法人CCC自然・ 文化創造工場関東事業部 面 積：14.91ha
360よ2、よ5	社会貢献の森 （奈良俣どんぐりの森）	設 定：平成26年5月 実施主体：ドングリの会東京 面 積：10.84ha
360よ4	社会貢献の森 （ならまた体験活動の森）	設 定：令和3年5月 実施主体：公益財団法人三菱UFJ環境財団 面 積：26.26ha
48た2、49ほ2	遊々の森 （花咲遊々の森）	設 定：平成16年6月 実施主体：片品村 面 積：5.80ha
154ち3内、 156わ1内、わ3内、 わ4内	遊々の森 （昭和村ふれあい遊々の森）	設 定：平成31年3月 実施主体：昭和村 面 積：3.70ha
13い1、イ1～イ4	多様な活動の森 （森の博物館 玉原）	設 定：令和7年6月 実施主体：多様な活動の森 （森の博物館 玉原）運営協議会 面 積：128.00ha

(3) その他

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位 置		面 積 (ha)	施業方法
49	ろ1	6.29	育成単層林業 施
50	い		
11	い1～い4	1,507.37	育成複層林業 施
14	い1～い3、に1、に2、に4～と2		
15	い1		
16	い1～に6、へ1～と11		
21	ち1		
24	ろ、ほ1、ほ2、ほ5～ほ7、と、り1、り2、ぬ、る3、わ～よ		
25	に1、へ1、ち1、り1～り10		
28	い2、ろ1、ろ3～ろ5、に1～に3		
29	い1、い3		
30	ろ3、は、ほ		
31	に2、と～ぬ、る2～ら		
46	い2、い3、は、に1、ち1、ち3		
47	い1、い2、ろ、か1、か4、れ1		
48	い1、い3～い7、へ3、り、ぬ、る2、わ1、か、た1、た3、 な2～な6、ら2、ら3、む4、う3、う4、う6、の1、お4、お5		
49	い1、い3、ろ2～は、ほ1、と1、ち1、ち2、る2、る5		
50	ろ1～ろ6、へ1～へ3、ち1～り3、わ1、か、た、そ、つ、ら1		
51	い～ほ2、り～る2、れ		
52	ぬ1～ぬ10、わ		
54	い2～い4		
55	る2		
58	め1		
59	し2、し3、し5、せ1、せ2		
60	に1、へ1、る1、た、つ1、ね1、う1、あ～ゆ		
11	い5	857.23	天然生林業 施
14	ろ～は2、に3、わ1、か		
15	い2、ろ1、ろ2、と1		
16	ほ		
24	に2、に3、ほ3、ほ4、へ、ち、る1		
25	ろ～は2、に2、ほ1、ほ2		
28	い3、ろ2、は		
31	る1		
46	に2、ぬ1		
47	か2、か3		
48	い2、は、る1、む1～む3、む5～う2、う5、お1～お3		
49	い2、に1、に2、ほ3、へ、と2、と3、り～る1、る3、る4、 る6～か		
50	は～ほ、と、ぬ、る、わ2、よ、れ、ね、な、ら2		
51	へ～ち、わ、か、よ2、そ		
52	か1～か3		
53	い1、ろ2～ろ5、に3～に8		
54	い1		
58	さ		
59	し4		
60	は、に2、ほ、る2、わ、か1、そ、ね3、な1、ら～む2		

位 置		面 積 (ha)	施 業 方 法
11	イ1～ハ4	33.48	林 地 以 外
14	イ～ハ		
15	イ1、イ2		
24	イ～ハ2		
25	ロ～ハ2		
30	ロ1、ロ3		
46	ロ		
48	イ、ホ		
49	イ		
50	イ1、イ2、ハ		
60	イ2、ロ2		
計		2,404.37	

(注) (1)、(2) の箇所を除く。